

報 告 書

令和5年11月26日（月）に自主研究グループに係る行政視察として、岡山議員と大分県日出町に行きましたので、視察事項につき下記のとおり報告します。

記

令和5年11月30日

美祢市議会
議長 竹 岡 昌 治 様

美祢市議会
議長 竹 岡 昌 治

1 視察の目的

本市のふるさと納税の実績は4,800万円程度であり、その経済効果は極めて希薄である。その原因はどこにあるのか。取扱業者なのか、あるいは行政にあるのか、さらに市内経済状況に原因があるのかを検証するため、視察を行った。

2 美祢市のふるさと納税の実績は下記のとおりである。

年度	件数	ふるさと納税額	住民税等控除額
H29	2,744 件	58,611 千円	3,652 千円
H30	2,928 件	61,850 千円	4,331 千円
H31/R 元	3,026 件	59,280 千円	4,645 千円
R2	1,332 件	28,197 千円	6,786 千円
R3	1,143 件	26,879 千円	10,375 千円
R4	2,960 件	48,539 千円	13,977 千円
R5 計画	2,825 件	48,400 千円	-

この計画は行政特有の低めの目標である。低めの計画目標では何の手立ても不必要であるが、地域農産物や加工品等のふるさと納税返礼品の工夫も不必要である。しかしながら地域経済に対して何ら影響度も低く、経済効果は皆無状況である。

さらに取扱業者も商業ベースに乗らず、次第に本事業は低迷するのは明らかである。

また、本市の六次産業化や特産品加工施設の不足、取扱業者の適否等、問題点は山積していると思われる。特に総合計画では高付加価値化すると計画されているが、付加価値とは地域で加工工程の中で人件費を付加することが重要であり、本市では残念ながら加工施設は皆無状況である。

3 視察先での取組 大分県日出町

(1) ふるさと納税の4千万円台から8億円台に伸びた要因

ア 日出町での「ふるさと納税額の伸長状況」

年度	寄附件数	納税額	サイト数	住民税等還付額
H29	755 件	34,650 千円	1	
H30	1,450 件	46,004 千円	2	33,457 千円
H31/R 元	17,553 件	317,309 千円	4	35,407 千円
R2	29,945 件	743,185 千円	4	50,524 千円
R3	28,299 件	792,981 千円	6	65,059 千円
R4	31,295 件	860,465 千円	9	76,818 千円

※R5 の目標は10億円とのこと

イ 担当部署の組織改編

(ア) 令和元年に業務担当者を配置。再任用職員で取り組む。

(イ) 令和4年5月に機構改革により商工観光課と政策推進課地域振興係を統合し「まちづくり推進課」として取り組んだ。ただし、新たな商品開発部署はないが、「(株) さとふる」が事業者訪問を実施し、取り組んでいる。

ウ 返礼品の開発で苦労したことは

日出町には返礼品の企画や開発を手掛ける部署を有する法人や事業所がない。

エ 返礼品の伸び率の高いものは(ベスト10)

(ア) 寄附金額順位

1位	66,944 千円	sony モニターヘッドホン	寄附金 64,000 円
2位	60,000 千円	三段おせち	寄附金 50,000 円
3位	48,816 千円	sony モニターヘッドホン	寄附金 112,000 円
4位	45,990 千円	スマートロック	寄附金 70,000 円
5位	32,010 千円	豊後牛ヒレス・サーロイン	寄附金 40,000 円
6位	28,323 千円	ジュース4種各6本セット	寄附金 11,000 円
7位	25,210 千円	野菜ジュース 190g 30本	寄附金 10,000 円
8位	23,101 千円	むぎ焼酎1本 二階堂6本	寄附金 45,000 円
9位	20,637 千円	カボスはちみつ入り 30本	寄附金 9,000 円
10位	19,665 千円	スマートロック	寄附金 95,000 円

(イ) 寄附件数順位

1位	ジュース4種各6本セット	2,575件	
2位	野菜ジュース190g 30本	2,521件	
3位	カボスはちみつ入り30本	2,293件	
4位	蘭王たまご10個×3	1,304件	寄附金6,000円
5位	三段おせち	1,200件	
6位	sony モニターヘッドホン	1,046件	
7位	つぶらなミカン190g30本	1,015件	寄附金9,000円
8位	豊後牛ヒレス・サーロイン	800件	
9位	日出ポーク豚ひき肉200g×6	765件	寄附金7,000円
10位	スマートロック	657件	

オ 中間業者の販促活動並びに商品開発の取り組み

令和4年度より「(株)さとふる」と事業者訪問等開始(新たな『定期便』の企画提案、取り組み開始。)

令和5年度11月末時点で、返礼品16件の新規定期便を開発。

カ 成功した施策、失敗した施策、リスク管理

ダウンロードプロモーションは知名度向上に一定の効果があったがサイト外の広告配信業務は、あまり寄附額向上には繋がらない。

キ ポータルサイトの手数料の経費が大きくなってきていることへの対策
「(株)さとふる」の他のサイト業務の「おまとめサービス」については、10%の手数料率を引き下げ4%となったので、経費削減は実現した
ク ふるさと納税の収支(寄附額から諸経費を引いたもの)50%ルールは遵守、令和4年度は4億円以上のプラス

4 ふるさと納税の使途

- (1) 現年度は寄附額から経費を除いたすべてを基金に積立。翌年度以降は2億5千万円を上限とし基金条例に記載する事業費の財源に基金原資を充当。

【日出町まちづくり基金条例】

(処分)

第5条 基金は次に掲げる事業に要する経費に充当する場合に限り、その全部又は一部を処分することができる。

- (1) 地域振興、地域情報化及び国際交流の推進
- (2) 住民福祉及び健康造りの推進
- (3) 子育て支援の充実
- (4) 生活環境の確保及び自然環境の保全
- (5) 地域特産品の開発及び地場産業の育成並びに観光の振興
- (6) 防災対策及び減災対策の推進
- (7) 教育の振興、教育施設の整備及び生涯学習の推進
- (8) 文化財の保護及び芸術文化の振興
- (9) 前各号に掲げるもののほか、町長が必要と認める事業

5 美祢市における検証と課題（視察による考察）

- | | | |
|---------------|---------|------------------------------------|
| (1) ふるさと納税の担当 | 行政経営課 | } 担当課の統合を図り、川下、川上を一体的に取り組む体制づくりが重要 |
| ミネコレ担当 | 農林課 | |
| 6次化（農産物加工） | 〃 | |
| SNS 担当 | デジタル推進課 | |
- (2) 消費者は迷って選んで購入する。この消費行動に対応した商品づくりとアイテムづくりが重要である。
- (3) 取扱業者の商品開発力、販促力が大きなポイントとなるので、業者の選定と地場事業所との連携がうまく機能しなければならない。
- (4) ふるさと納税の返礼品について、農産物、加工品等に限らず、例えば観光資源アウトドア思考の返礼品開発等、新たな商品を開発すべきである。
- (5) 全国的に牛肉が人気商品であることから、飛躍的にふるさと納税を伸ばすには、肥牛農家と精肉加工者との連携を強化し、あるいは新規加工者の育成を図り、1億円規模の業者育成を支援する必要がある。
- (6) 宣伝広告費は、農業、商業、観光の振興という観点で拠出し、「ふるさと納税会計」に柔軟性をもたせる必要がある。
- (7) 昨今は核家族化していることから、大きいロットから小さいロット（例えば大玉西瓜でなく小玉西瓜等の産地化）も推奨し、ライフスタイルに適合した商品づくりを進めるべきと思われる。

参考資料として別紙参照

以上